

活動名	はこだてらこや～函館の将来を担う人材育成～	団体名称	一般財団法人 北海道国際交流センター
		活動テーマ	経済的困難を抱える子どもを支援する活動
		活動の目的	①学習支援活動
■活動結果（概要）		■実施スケジュール結果	■各スケジュールごとの活動内容
<p>拠点型の学習支援事業。学校の勉強サポートだけでなく、社会に出てから役立つ教育、人材育成を行った。</p> <p>例えば、自分でその日の目標設定と反省を行い、小さい頃からPDCAサイクルを回せるような習慣作りであった。</p> <p>寺子屋のように読み・書き・そろばん（計算）の指導、社会に出てから役立つ礼儀作法やマナー教育を実施した。スタッフや地域に住む大人の話聞き、将来を考えるきっかけを与えるた。</p>		<p>2017.9</p> <p>2017.10～12</p> <p>2017.12～2018.8</p>	<p>名義後援申請、参加者募集</p> <p>申込受付開始、アルバイト募集、スタッフ打合せ</p> <p>事業実施</p>
■活動目標	学校の勉強サポートだけでなく、礼儀作法やマナー教育など、社会に出てから役立つ教育・人材育成を行う。地域に住む大人・留学生の話聞き、交流することで、将来を考えるきっかけとする。		
■長期成果	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強は「やらされるもの」から「将来に必要なだから、自ら進んでやるもの」に変化していく ・地域の大人と交流することで、ロールモデルを見つける 		
活動風景			
 <p><個別指導の様子></p>		 <p><格闘技エクササイズで体力アップ></p>	
 <p><好きなお花を選び、ハーバリウム作り></p>			
■得られた成果と今後の課題	■受益者や地域社会の変化	■得られたノウハウの共有・発信	
<p>・最終的に、参加者が目標の20名となり、子ども同士の交流も生まれ、楽しい雰囲気での活動ができた。</p> <p>みんな学年や学校が違い、知的障がいを持った子ども通っていたが、とても仲良くしており、当センターが目指す「多様性を共に支え合う社会」の小さなモデルになれたと感じている。</p> <p>・学習の部分では、少人数指導ができたおかげで、学校の授業で理解できなかった部分を理解してもらえた。</p> <p>・ワークショップでは、地域で活躍する様々な方々に協力いただき、子どもたちはたくさんの経験ができた。「全部楽しかった」という子どもたちが多かった。</p> <p>・事業が終了する頃には、保護者の方との信頼関係もでき、子どもたちの家庭での様子を嬉しそうに報告してくださったり、教育に関する相談をしてくださる方もいらした。事業名の通り、函館の将来を担う人材育成ができた。</p> <p>・9月以降は、ボランティアの大学生が運営してくれることとなり、良い形で終えることができた。</p>	<p>・子どもたちの変化としては、積極性や自信が付き、明るくなった子どもたちが多いと感じている。様々なワークショップに楽しみながら挑戦することで、これまで苦手としていたことが克服でき、自分に自信を持つことができ、勉強への取り組みにも良い影響を与えていた。</p> <p>・保護者の方からは、「参加することで勉強がはかどり、期日までに宿題が終わった。」「学校の授業よりもわかりやすく、理解が深まった。」「いつも楽しそうに、自分で作ったものを見せてくれる。」など、参加して良かった、という声がたくさんあった。保護者の方も、スタッフに家庭での悩み事相談や、子どもたちの変化を報告してくれるようになり、良い関係を作ることができた。</p> <p>・新聞に掲載されたことで、ボランティア参加（3名）、お菓子の差し入れがあった。問合せはなくても、新聞の読者には、支援が必要な子どもたちが函館にいることを発信できたと思う。</p>	<p>①広報活動は何度も実施する</p> <p>小学校へのチラシ配布は、全部で4回実施した。同じチラシを家庭に持ち帰っているはずだが、問い合わせるタイミングは家庭状況によって違う。本当に支援を必要としている人に届けるためには、何度も何度も行うことが大切だと感じた。</p> <p>②助成終了後も継続していく方法</p> <p>当センターが事業を継続するか、地域で運営してくれるグループに完成した形を譲渡する、のどちらかの方法をとらなければならぬと感じていた。そんな時、教員を目指す大学生に、「将来の経験のために、運営をやってみないか」と声をかけたところ、大学生も「せっかくの場所を潰したくない」と思っており、意見が一致した。勉強の場を残すことができることになり、子どもたちにとっても、保護者にとっても良い流れとなった。もし、地域との連携についてなど、詳しい話を聞きたい方、何かお役に立てることがあれば、ぜひ協力したい。</p>	
〒 040-0054 （住所）北海道函館市元町14-1 （団体名）一般財団法人 北海道国際交流センター （ホームページ）： http://www.hif.or.jp/			<p>助成金額 984,000円</p> <p>助成期間 H29.9.1～H30.8.31</p>

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。